

外国人ジャズバンド 2時間30分対応 通訳兼マネージャー同行

結婚式、披露宴、イベント、パーティーの生演奏。ワンランク上の演出。最高のパフォーマンスをお届けします。

パーティーではジャズバンド演奏でパーティー会場を華やかにします。

本格的なライブエンターテイメントが楽しめます！生演奏はお任せ下さい。豪華に生バンド編成も人気。



Peter St Ledger Jazz Player



ピーターセントレジャー
Peter St. Ledger

ジャズ・ピアニスト
オーストラリア出身

6歳からピアノを学び、クラリネットやサクソといった楽器にも慣れ親しんできた。20年以上の彼のキャリアの最初の8年間は、ジャズ、ファンク、ポップスといったジャンルの音楽の追求と、オリジナル曲のバンド演奏に費やされた。この間、テレビ番組「レイ・マーティン・ショー」のレギュラーバンドとして活躍し、バンド演奏で各地を廻る。ニュー・サウスウェールズ音楽大学のジャズピアノ科を卒業後、ラテンやサルサ、ソウルといったジャンルにも音楽領域を広げ、クラブや客船での演奏、ドリフターズやコースターズといった有名バンドのバックとしても活躍する。その後、リッツカールトン、インターコンチネンタル、ニッコーホテルなどの一流ホテルに所属して演奏活動を続け、CTC クルーズ客船に演奏者として乗り世界を廻る。

岡本真夜のコンサートツアーやシェリル・クロウとの共演など活躍の場を広げる。
ライブハウスやコンサートホールでの演奏を中心に最高の演奏を披露している。

主な音楽活動

岡本真夜コンサートツアー「CRYSTAL SCENERY」ツアーメンバーとして全国を廻る。

PATRICIA MARX (ブラジル人ポップシンガー) 来日ツアーメンバーとして共演。

「筑紫哲也のNEWS23」ジャズシンガーホリー・コールと共にアコースティックピアノを生演奏。

「ミュージックフェア」シェリル・クロウのバックメンバーとして共演。

小野リサのアルバム「BOAS FESTAS」の収録曲「LET IT SNOW、LET IT SNOW、LET IT SNOW」の演奏・アレンジ。ブラジリアンナイトクラブ「サシペレレ」(小野リサの父親が経営)にてレギュラー出演



Steve Sacs

Jazz Player

スティーブ・サックス
Steve Sacks

サックス&フルート・プレーヤー、アレンジャー

アメリカ・ワシントンD.C.生まれ、シカゴ、コネチカット州育ち。

ハーバード大卒音楽理論学者であるスティーブ・サックスは、ジャズ、ラテン音楽やブラジル音楽の豊かさと同様さを音楽活動の中心に置いて、プロとして35年以上になる。

5ヶ国語が流暢で、20年に及んでニューヨークのジャズシーンで活躍して来た。

CDやLP100枚以上に参加。また、スティーブ自身がリードするニューヨーク・ベースのブラジリアン・ジャズグループ「トリロジア」と「ガナバラ」で4枚のアルバム。初めてのソロCDである「First Dream: 初夢」に加えて、「Look To The Sky」と「Christmas Presence」は現在発売中。下は共に演奏・録音または編曲を担当した代表的なアーティストの例です。

小野リサ、矢沢永吉、森山良子、南佳孝、マリーン、伊藤ゆかり、中森明菜、カヒミカリイ、夏木マリ、アンディー・ラウ、ザ・テンプレーションズ、アストリッド・ジルベルト、ティト・プエンテ、熱帯ジャズ楽団、デューク・エリントン・オーケストラ、アール・クルー、マンハッタン・ジャズ・オーケストラ、ポール・サイモン、デーヴィッド・バーン、トーキング・ヘッズ、ジョー・ジャックソンなど共演。

A portrait of Brent Nussey, a jazz bassist. He is shown from the chest up, wearing a dark suit jacket over a dark shirt. He has dark hair and is looking slightly to the right of the camera with a neutral expression. The background is dark and out of focus.

Brent Nussey

Jazz Player

ブレント・ナッシー
Brent Nussey

ベース・プレーヤー

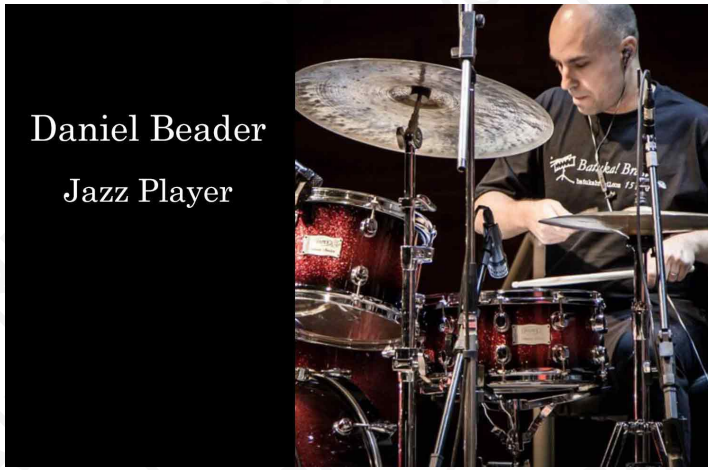
カナダ生まれ。ボストン、バークリー音楽大学卒業

ウィット・ブラウン、レイ・ブラウンに師事。
その後、ニューヨークに在住してジェームス・ウィリアムス、
ダイアナ・クロール、ジャヴォン・ジャクソン、
エディ・ヘンダーソン等、様々な著名なミュージシャンと共演する。

日本で活躍するジャズミュージシャンのAKIKO、小林陽一、
有田純弘、吉岡秀晃、中村誠一などと共演。
ミュージシャンの加藤和彦、坂崎幸之助、松田"ari"幸一などと共演。
エレクトリックベースでも演奏します。
クラシック奏者の工藤重典、雨谷麻世、斎藤雅広などと共演。

海外ミュージシャンのルー・タバキン、ベニー・パウエル、
ソフィー・ミルマン、ニコル・ヘンリーなどと共演。
精力的な活動を展開する。

Daniel Bader
Jazz Player



ダニエル・バエデール
Daniel Bader

ドラマー

ブラジル、サンパウロ生まれ。

「シルク・ド・ソレイユ」にて全米ツアーのバンドリーダー兼ドラマーの経験を持つ。

4歳でピアノを始め、11歳の時初めてドラムセットを手に入れました。

12歳で既にプロとして演奏を始めました。

14歳の時、サンパウロの音楽学校でドラムを教え始めました。

15歳の時に南米で1番大きなドラムフェスティバル「Batuca」に参加し4年間オープニングアクトを務めた。

その後このイベントには6回参加。その間、このイベントは世界にも知られ、

Dave Weckl、Jojo Mayer、Dom Famularo、Virgil Donatiらなどの名だたるドラマーも参加した。

16歳の時にブラジル国外までも知られたロック・フュージョンバンド「OTERCO」に参加。

19歳の時にリリースしたこのバンドでのCDは、ドラムの演奏だけでなくほとんどの曲を作曲。

18歳の時に彼のセルフプロデュースで1st アルバムをリリース。

世界中のドラムフェスティバルや様々なアーティストとのレコーディング、

舞台から子供向け作品などの作曲やテレビ番組でのショーに参加。

2009年、シルク・ド・ソレイユにドラマーとして呼ばれ、ショー「Ovo」の創作段階から参加。

世界各地をツアーした。その後、シルク・ド・ソレイユ初のブラジル人でドラマーの

バンドリーダーとして同ショーでアメリカ全米ツアー。彼のキャリアはシルク・ド・ソレイユの参加

によって節目を迎えた。2017年に8年間のシルク・ド・ソレイユでのツアー終了後、日本に移住する事を決意。

「横濱ジャズプロムナード」などのフェスティバルへの参加。

名門ジャズクラブの出演やプロジェクトを開始している。

マリーン、マルシア、クリヤマコト、モト冬樹、井上銘、アキラ・イシグロとの共演。

仲田美穂、マルセロ木村などのアルバムをリリース。

プロデューサー、作曲家、編曲家、ドラムのインストラクター、パフォーマーとして活動中。



グスターボ・アナクレート
Gustavo Anacleto

サックス・プレーヤー

ブラジル北東部ペルナンブーコ州オリンダ出身。

ブラジル音楽院（CPCMR）にてサックス、作曲、編曲を学ぶ。

レシフェ、サンパウロ、リオデジャネイロの音楽シーンで長年活躍。

彼はまた、ボサノバ、フレボ、サンバ、バイアンなどのブラジルの音楽スタイルを広めるために、フランスや他の国へのツアーも行いました。ブラジルに戻ると、彼はジャズとブラジルのスタイルを融合させることに専念し、いくつかのCDにゲストとして録音しました。

交響楽団やカルテット、デュオ等のバンド活動を始める。

2004年に彼のグループ Spok Frevo はブラジルの TIM AWARD（TIM アワード）の Revelation Prize を受賞しました。TIM AWARD（TIM アワード）はアメリカのグラミー賞に相当します。

ブラジル人プロサックスプレーヤーとして、その現代的な音色と個性的なインプロビゼーション、的確なスイングに注目を集めている。

MISIA（GOING ON AND ON 2019）、杏里、小野リサ、矢沢永吉など一流シンガー、ミュージシャンと共演。

2022年 矢沢永吉 50周年「MY WAY」にサックスプレーヤーとして参加。

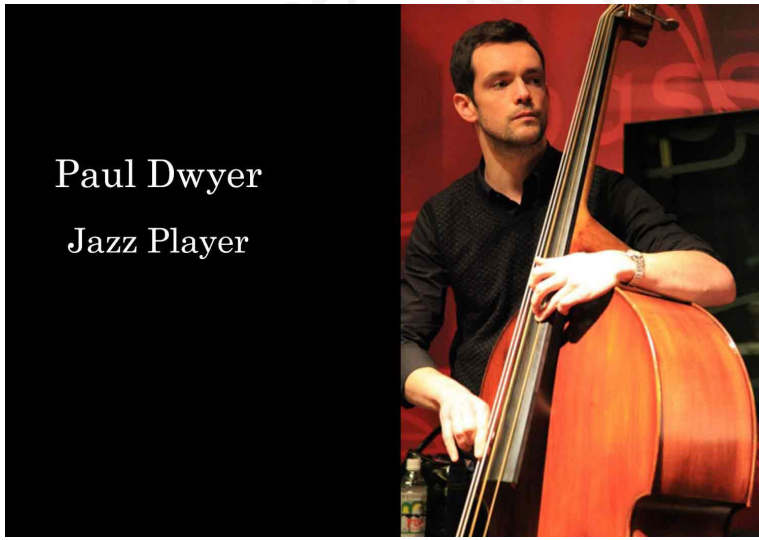
8/27、8/28 新国際競技場にて6万人の前で演奏。

定番曲「バーボン人生」の間奏で哀愁のあるクラリネットを演奏。

6万人の観客を酔わせました。

矢沢永吉「EIKICHI YAZAWA CONCERT TOUR 2022 ～ONE FIFTY～」に出演。

Paul Dwyer
Jazz Player



ポール・ドワイヤー
Paul Dwyer

ベーシスト

イギリス（サマセット）生まれ。

7歳よりピアノを学び、ホーンとトランペットを習得。17歳よりダブルベースをはじめ、ブリストルなどでアマチュア演奏を開始。18歳のときにロンドンに移り、ウエストミンスター大学にて商業音楽を学ぶと同時にプロベーシストとして活動を開始する。在学中、ブラジル音楽に興味を持つきっかけとなった Bosco d'Olivera, またジャズピアニストかつ作曲家の Steve Beresford と出会う。

1988年卒業後よりラテン、ジャズを中心に音楽活動を開始。ロンドンでレッスンなどを行うほか、プロ・アマ問わず多くのミュージシャンと共演する。

2003年日本に移り、三味線と長唄を学ぶ。またブラジルなどで音楽を勉強する一方、サイモンとハワイで演奏を行うなど活動する。現在は東京と千葉を起点に長唄をベースで演奏するなどの新しい試みを行っている。

Gerald Painia
Jazz Player



ジェラルド・パイニア
Gerald Painia

ドラム、ボーカル

アメリカ、ロスアンゼルス出身。

10代からR&Bの伝説のバンドや歌手：ピーボ・ブライソン、マーサ・リーヴス、レイ・パーカー・ジュニア、シェリル・リン、サム・アンド・デイブなどのドラマーとして国内外で活躍。

Raymond McMorris

Jazz Player



レイモンド・マクモーリン
Raymond McMorris

テナーサクソ

11歳からテナーサクソを始め、主にニューヨーク、コネチカット州を拠点に活動。

1997年ペンシルバニア州フィラデルフィア芸術大学ジャズ科に入学、
1999年にはコネチカット州ハートフォード大学に転校し、
アルトサクソ奏者のジャッキー・マクリーンが設立したジャズ専攻科にて
ジャッキー・マクリーンと出会い、師弟関係となり、師事する。

2004年4月にはニューヨークのブルーノートにピアニストのホレスシルバーのライブメンバーとして出演。
2005年来日、活動の拠点を東京に移す。2016年にデビューアルバム“RayMack”をリリース。
以降、ハンク・ジョーンズ、トミー・キャンベル、フランク・ゴードン、ティファニー
などの国内外の才能豊かなアーティストとの共演の機会に恵まれる。
国内のジャズライブハウスなどで「小沼ようすけ」や多くのプロミュージシャンと共演。
サクソ演奏のテクニックも素晴らしいミュージシャンです。日本語も可能。

レイモンドのプレイはソニー・ロリンズやジョン・コルトレーン、ジョー・ヘンダーソン
を彷彿とさせる音色を持ちながら自由かつ前衛的なフレージングが特徴。
ジャズテナーサクソのトラディショナルとモダンが融合したユニークなスタイルで注目を集めている。

Bob Ward
Jazz Player



ボブ・ワード
Bob Ward

ギタリスト

ニューヨークのジャズシーンで20年以上に渡りジャズ・ギタリストとして活躍。共演した主なプレイヤーはジャック・マクダフ、ウォーン・マーシュ、バリー・ハリス、ボブ・ロックウェル、スティーブ・ラスピーナ、ティム・リース、マーク・ジョンソン等。リーダーを務めたニューヨーク・ジャズ・ギター・アンサンブルのアルバム「4 on 6 x 5」は巨匠ウェス・モンゴメリーへのトリビュートとしてリリースされた。

作曲家として曲を提供したアーティストにはジョージ・ベンソン、グローバー・ワシントン・ジュニア、ラムゼイ・ルイス等がいる。

ジョージ・ベンソンのアルバム「ザッツ・ライト」に収録された「ザ・シンカー」は、何ヶ月にも渡ってビルボード誌のコンテンポラリー・ジャズ部門の1位にランクされた。



Derek K. Short Jazz Player

デレック K. ショート

ベース/サックス/プロデュース/コンポーザー
アメリカ合衆国シカゴ出身。

幼少の頃からトランペットを演奏し、14歳の時にベースを始め、16歳でプロフェッショナルになる。プロフェッショナルになると同時にシカゴの音楽学校「American Conservatory Of Music」に入学しジャズとクラシックの音楽教育を受ける。アメリカ国内外の様々なジャンルバンドに参加した後、アメリカ国外に活動の場を広げ、独自のスタイルと音楽性を確立する為にソロ活動と作曲に力を入れる。

その後、ソロ活動をしながらも数多くのミュージシャンと共演。現在までアメリカ、シカゴを始めニューヨーク、カリフォルニア、ロンドン、オランダ、アムステルダム、ドイツ、ベルリン、エジプト等で活動。共演アーティストは、カーマイン・アピス、ハイロム・ブロック、ウエイン・ヘンダーソン(クリセーターズ)、ゲリー・シャイダー (P-FUNK)、ゲリー・クーパー (P-FUNK)、マーク・ホワイト (スペクターズ)、ポール・ジャクソン (ヘッドハンターズ)、ERIC B & RAKIM 等、その他多数。

その音楽性のみならず演奏法も独自のスタイルを確率しており、ベース一本で、リズム、コード、メロディーの全てを同時演奏する特別な表現法をするベーシストとしても知られている。

現在まで4枚のアルバムをリリース。各アルバムは作曲、編曲、プロデュース、演奏の全てが高く評価される。

BOSS/ローランド

ともかく誰もが目を疑う超ウルトラテクニクにのみ注目されがちなデレックだが、その音楽センス、そして身体でじかに聴衆を感じていたいと願う音楽に対する真摯な姿勢は、忘れていた何かを思い出させる。

活動履歴：

倅田來未、久保田利伸、EXILE、Superfry、TLC、アッシャー等のサポート。

名門ジャズクラブ出演、ブルガリ・バーにて演奏、リッツカールトンホテルにて演奏。



マイク レズニコフ
Mike Resnikov

ドラマー

米国 ニューヨーク州マンハッタンで生まれ

父は画家、母は写真家の芸術一家で、父の友達にミュージシャンが多かったことから幼少時よりルイ・アームストロング、マキシム・サリバン、ジョー・ジョーンズ、カイ・ウィンディング等 数多くのミュージシャンの音楽を目の前で聴いて過ごす。

因みに、ルイ・アームストロングのバンドドラマー、ズティ・グルトーンは彼の名付け親である。

21歳でプロになり、ニューヨークではフランク・ストロージャー (as)、ジーン・テイラー (b)、

カイ・ウィンディング (t b)、ドン・エリオット (biv) 等多くのバンドに参加。

1978年に来日してからは、金井英人、山本剛、田村翼、池田芳夫、土井英史、シャープ&フラット、小宅珠美などのバンドに参加し、多くのアルバムを残した。2009年にはリーダーアルバム「Time to smile」を発表。

2013年には2ndアルバム「 Only You」を発表。

現在も現役ドラマーとしてライブやレコーディングで活躍中。

自己のカルテット「Mike Jazz Quartet」を率いて、西荻窪の「アケタの店」毎月出演。素晴らしく Swing する演奏を聴かせてくれる。



ANDY WULF
(アンディ・ウルフ)

カナダのアルバータ州エドモントンで生まれ育ち、モントリオールが活動の拠点となっていました。

人生の半分ほどはサクソスを吹いており、17歳の時には既にプロとして活動を始めています。

モントリオールのマクギル大学において、クラシック作曲とジャズ演奏の学士号を取得。

演奏者、アレンジャーとしての業績は次のとおり多岐に渡っています。

レジー・ウォークマン、ケニー・ウィーラー、ロビン・ユーバックス、アンソニー・ブラクストン

と言ったジャズ界の大御所と共演有名なマイルス・デイビスのバンドメンバーであった、デイビット・リーブマンと共演。

収録かつて、モントリオールの有名なラテンバンド“LA MODA”のアレンジャー兼メンバー

モータウンレコーディングアーティストのマーサ・リーブス、カナダの有名シンガーであるアン・マーレイ等のポップアーティストのバックメンバー。

現在、アンディウルフは様々な音楽シーンで活動をしています。

スタジオ収録・作曲活動のほか、アイコ、矢沢永吉、福山雅治、森山良子、クリヤマコト、日野皓正、中山マリ、など数多くの有名アーティストと共演。



JAMES MAHONE
(ジェームス・マホーン)

ジェームス・マホーンは、現役のパフォーマーであり、インストラクターでもあります。カリフォルニア州モントレーで音楽を始め、その豊かな音楽シーンの影響に浸りました。彼はカリフォルニア州立大学ノースリッジ校に進み、ビル・コーキングズの下でクラシックとジャズのサクスを学び、大学の受賞歴のあるウィンド アンサンブルやジャズ ビッグ バンドに参加しました。

ジェームスはロサンゼルスミュージックシーンに欠かせない存在となり、高く評価されているジャズ クインテット ブラック ノートのメンバーとなり、コロムビアと GRP/インパルス レコード レーベルのためにアルバムをレコーディングしました。グループのメンバーとして、ジェームスは西海岸にて数年間演奏し、国内および国際的な目的地に移りました。彼は多くの主要なジャズ フェスティバル (モントリオール、北海、ポリ、ウンブリアなど) に出演し、今日の一流ミュージシャンの多くと仕事をしてきました。

ジェームスはニューヨーク市のニュー スクール フォー ソーシャル リサーチで音楽の勉強を続け、ギャリー ダイアル、ビリー ハーパー、ベニー パウエル、チャールズ トリバーの下でサクスと作曲を学びました。多くのミュージシャン (Tomas Fujiwara, Taylor Ho-Bynum, Jaz Sawyer, Sasha Dobson, Brian Settles, Matt Otto, Danton Boller, Andy Bemkey, Jeff Carlstedt, Neil Podgursky, Chad Taylor, Arnie) と共演することができました。サクス、クラリネット、フルートの学生に個人的に教え始めました。東京でプロとしてのキャリアを続けることで日本はジェームスにパフォーマーおよびレコーディングアーティストとしてのスキルを磨く機会を与えてくれました。

ジョナサン カッツ、マイケル ウルフ、ジョン B. ウィリアムズ、アンジェラ ストライプリング、グレッグ マッケンジー、アンドレア ホプキンス、ハーヴェイトンプソン、レイモンド マクモリン、マーク。トウリアン、ブレント・ナッシー、カンカワ、マリア・エヴァ、金城テディ、池永和美、セシル・モンローなどと共演。

日本中で人気のミュージシャンであることに加えて、彼はより多くの個人の学生を受け入れ、St. Maur International School でサクスのインストラクターとして、世界中の若い意欲的なミュージシャンと交流しました。



Jeff Curry

ジェフ・カリー

1978年2月6日ウエスト・ヴァージニアのルイスバーグ生まれ。

13歳の時、手にしたトランペットをきっかけに彼の音楽という旅が始まる事になるが、その後すぐエレキベースへと目覚め、地元のミュージシャンと演奏そして作曲活動に励むようになる。

16歳の頃ストリング・ベースを学び始めジャズの世界へと導かれ気付くと“Ghost Town Swing”というスウィング/ジャズバンドのリーダーとなっていた。

高校卒業後、ジェフは The University of North Texas(ノーステキサス州立大学)に入学。

Lynn Seaton そして Jeff Braditich に師事し、広く名高いビッグバンドやその他のスモール・アンサンブルで演奏する機会を得る。また大学外でも“Little Jack Melody and his Young Turks”というバンドでの US ツアー参加や Shelly Carol, Bernard Wright, Wayne Delano, and Brad Williams 等ダラスで活躍するミュージシャン達との演奏の機会に恵まれる。

その後 2004 年に東京に移住し演奏活動を続け、15 作品以上のアルバム制作に参加。そのうちの2枚はジェフのオリジナル作品である。

また彼は“The Outer Rim”というバンドを結成しリーダーを勤める。

“Jeff Curry Music”ではプロデューサーや様々なタイプのメディアに向けた “Buy Out” ビジネスを提供している。

Jeff の主な共演者(バンド)は、the Hakuei Kim trio, Coppe, Serendipity Big Band, Ko Omura trio, Neil Stalaker's East/West Unit, and Tokyo Groove Alliance が挙げられる。

また、“The Jill-Decoy Association” や小柳ゆきなどのポップ界のアーティストとの共演、レコーディングにも参加。

最近ではビデオゲーム Sekaiju no MeiQ 2 Super Arrange Version CD への歌詞・曲提供、

その他多くの日本のアーティストに歌詞提供している。

Tokyo Jazz フェスティバル, Denton Texas Arts and Jazz festival,

フォートワース・メインストリート・フェスティバル, 豊島ジャズクルーズで活躍中。

アメリカ, 日本, 南アメリカ, メキシコ, タヒチ, マレーシアなど規模・国境を問わず

演奏活動を続けるミュージシャンである。



Mark Tourian

マーク・トゥリアン ベーシスト

米国コロラド州デンバー市出身1

2歳よりプロとしてステージに立つ

名門ブラウン大学、エール大学院で幅広く音楽を学ぶ

1990年～アーティー・ショウ・オーケストラに在籍 カナダ、スウェーデン、全米各地をツアー

1993年～トミー・ドーシー・オーケストラに在籍 全米ツアー

1994年～グレン・ミラー・オーケストラに在籍 日本、ハワイ、全米をツアー

1994年～ニューヨークの Small's Jazz Club のジャム・セッションにて、ハウス・バンド・ベーシストとして
レイ・ブライアント、ウイントン・マルサリス等と共演

- ・現在日本に本拠地を置き、全国でのコンサート、フェスティバル、ライブ、イベントの他、録音、放送の仕事も手掛けている。
- ・トム・ピアソン、守屋 順子、山中 千尋、東京ビッグ・バンド、宮本 大路、トミー・キャンベル等と共演。
- ・多国籍ジャズグループ『Candela』のメンバーでファースト・アルバム『Mogami』が大好評を得る。
- ・2004年7月、セカンド・アルバム『Rise Above』をリリース。
- ・ニュー・ヨーク BlueNote、ニュー・ヨーク Joe's Pub、トロント・ジャズ・フェスティバル等に出演
また、全国でジャズ・フェスティバル、コンサート等活動中。
- ・2005年1月、原 とも也とのデュオ CD『Window』をリリース
- ・2007年8月 CD『波紋 Window Trio Live』をリリース。

主な共演者:

トム・ハレル、ジョー・ヘンダーソン、日野皓正、デイヴ・リーブマン、ルー・タバキン、エディー・ヘンダーソン、
エリック・マリエンサル、原 信夫、前田 憲男、五木 ひろし、錦織 健、姜 建華、パトリック・ヌジェ、
ビリー・エクスタインポール・ジェフリー他

映画出演:

松平 健、ブルーノ・ガンズ主演日独合作映画「バルトの楽園」(東映、2006年6月公開)に出演。

田村 正和、伊藤 美咲主演映画「ラストラブ」(松竹、2007年6月公開)に出演。

玉木 宏、上野 樹里主演「のだめカンタービレ」(東宝、2009年12月公開予定)に出演。



CLIFFORD ARCHER
(クリフォード・アーチャー)

ベーシスト

「アトランテック・スター」のベーシスト。

ヒット曲「オールウェイズ」で知られる世界的なグループである。

ブラックコンテンポラリー(通称:ブラコン)などの曲目は感動します。

バラッド、ミディアム、アップテンポまで自由自在にグループ感をきかせます。

世界の一流ミュージシャンのテクニック、ソウル、R&Bの本物のグループ感をたっぷりと聞かせてくれます。



STANLEY GILBERT
(スタンリー・ギルバート)

ベーシスト

1938年9月10日 ニューヨーク生まれ

素晴らしいベースプレイヤーで、レコード、イベントの名プロデューサーとしても幅広く活躍中。

スタンはウエストコーストのジャズプレイヤーとの演奏をレコーディング、プロデュースしている。CD

「Pavane」「邦題-亡き王女のためのハヴァーナ」、メンバー/ヒューバード・ローズ(フルート)、パ

ディ・コレット(サクソ)、ケビン・ユーバックス(ギター)、ルー・マッシューズ(ピアノ)、

ハービー・メソン(ドラム)、又、CD「Ave Maria」、メンバー/ヒューバード・ローズ(フルート)、ア

ーニー・ワッツ(フルート)、アンソニー・ウィルソン(ギター)、ロジャー・ケラウェイ(ピアノ)、

ハービー・メソン(ドラム)はスウィング・ジャーナル・ゴールドディスク賞を獲得。主な共演者はクルセイダース、

チコ・ハミルトン、フレディー・ハバード、ルー・ロウズ、ナンシー・ウィルソン、デージー・ギレスビー、

レス・マッキヤン、ブルー・ミッチェル、エディー・ハリス、ジーン・ハリス、ハンク・ジョーンズ、アニタ・オディー、

バディー・コレット、アニー・ワッツ、デージー・ガレスビー、ジャッキー・マクリーン、サラ・ヴォーン、

ダイアン・シェア、ケニー・バレル、ジョー・サンプル、ジミー・スコット、ジミー・スミス、ライオネル・ハンプトン等。

1990年に、来日してから東京原宿ジャズライブハウス”キーストン コーナー”では

歌手のロレッツアレキサンダーと共演。そしてダイアン シュアとも共演。

この時の模様はNHK衛星TVにて放映された。また、レーザーディスクとビデオ化された。

数々の日本人プレイヤーとも共演。

北村英治、伊藤君子、ケイコ・リー、ミッキー・カーチス、水森亜土、中本真理、ジミー・武内、他。

スタンの栄光はジャズ界においてだけではない。彼は在米中、サンディエゴや

ロスのフィルハーモニーオーケストラを経て、60年代後半から70年代後半の有名な

ロック・グループのリーダーとしてポップ・チャートをにぎわせた経験も持つ。

ジャズだけにとどまらない、幅広く豊かな音楽性が彼の魅力のひとつである。



Dennis Bradford(デニス・ブラッドフォード)

ドラマー

ケニーG、チックコリア、アルジャロウ等、有名アーティストのレコーディングに参加。

アメリカのヒットメーカー達がデニスのドラミング、パフォーマンスを評価し、数々のヒット曲に関わる。

いまだに米国内でドラマーとしてビッグネームの一人。

1970年代カシオペア、プリズムなどが密かに手本としたフュージョンジャズの創始者ジェフ・ローバー。

そのグループのリズムの要として黄金時代を築いたドラマー、デニス・ブラッドフォード。

ジェフ・ローバーバンドに在籍し数々のセッションを世の中に残してきた天才ドラマー、デニス・ブラッドフォード

米国、オレゴン州ポートランド生まれ。音楽の才能に溢れた家族のもと、4歳からドラムを始める。8才でプロデビュー。

父のボビー・ブラッドフォードは、ビリー・ホリディのバンドメンバーとして世界的に有名なトランペットプレイヤーであり、

フランク・シナトラやクインシー・ジョーンズとも長期に渡って共演をした。

そんな父親の影響を受け、デニスは自然に音楽に対する造詣を深めていった。

6歳でポートランドにおけるデビュー・コンサートを行った後、多くのレコーディングやライブ・セッションに参加、

その才能が認められ、アリスタ・レコードとの契約に至る。その後11年間に及んだ契約期間中、

20世紀にフュージョンという音楽を確立したグループとして有名な「ジェフ・ローバー・フュージョン」のメンバーとして演奏活動や

レコーディング活動に参加。オリジナル・メンバーにケニー・Gも参加していた本バンドで、デニスはオリジナル・ドラマーを務めた他、

バンド楽曲のアレンジメントも一手に担当した。

チック・コリアやスタンリー・クラークとのステージにおけるジェフとの共演の他、数多くのレコードを発表、

その中にはアメリカン・ヒットチャートのトップ10入りを果たしたライブ・レコーディング・アルバムもある。

「ジェフ・ローバー・フュージョン」に影響を受けた多くのフュージョン・グループの一つでもある

「スクエア・カシオペア」は日本においてナンバー1ヒットを達成した。

1989年に東京に音楽活動の拠点を移す。その6年後、ライブでの共演をきっかけにマミと知り合い

2001年5月、デニス & マミが全曲アレンジを手がけたアルバム「アティテュード」をリリース。

常にチームワークの良さで仕事を手がけるデニス & マミの音楽の世界は、あのプレイ・ステーション2のゲームソフト音楽のアレンジや

日本の数多くのアーティストのプロデュースなど、様々な分野においてその広がりを見せている。

現在発売中のアグネス・チャンや保科ユリ、YUKAなどのCDはデニス & マミのアレンジによるものである。

デニス・ブラッドフォード Discography



"The Jeff Lorber Fusion" ジェフ・ローバー・フュージョン
1977 Inner City Records [IC 1026] Produced
by: Jeff Lorber and Harry CallowAll
compositions by Jeff Lorber
Jeff Lorber: Keyboards
Dennis Bradford: Drums
Lester McFarland: Bass Terry
Layne: Reeds & Flute



The Jeff Lorber Fusion "Soft Space"
1978 Inner City Records [IC 1056]
Produced by: Jeff Lorber and Marlon McClain
Jeff Lorber: Keyboards
Terry Layne: alto & tenor saxophone, Flute
Dennis Bradford: Drums
Lester McFarland: Bass
Ron Young: Congas & Percussion



1979 Arista Records [ARISTA AB 4234]
Produced by: Jeff Lorber
Jeff Lorber: Keyboards
(Prophet, Fender Rhodes, Mini-Moog, other)Dennis
Bradford: Drums
Danny Wilson: Electric bass
Dennis Springer: Saxophone
Freddie Hubbard: Flugelhorn
Joe Farrell: Flute
Bruce Smith: Percussion
Doug Lewis: Funky guitar
Jay Koder Jazz guitar, acoustic guitar



The Jeff Lorber Fusion "Wizard Island"
1980 Arista Records [AL 9516] Produced
by: Jeff Lorber
Jeff Lorber: Keyboards
Kenny Gorelick: alto & tenor saxophone, Flute
Dennis Bradford: Drums
Danny Wilson: Electric Bass
Paulinho Da Costa: Percussion



The Jeff Lorber Fusion, "Galaxian"
1981 Arista Records [AL 9545]
Produced by: Jeff Lorber and Rik Pekkonen
Jeff Lorber: Keyboards
Kenny G: alto & tenor saxophone, Flute
Dennis Bradford: Drums
Danny Wilson: Electric Bass
Paulinho Da Costa: Percussion



"attitude"
featuring Dennis Bradford
with "Solid Ground"
2001 CAB Records [CBCJ-0016]
Dennis Bradford (Drums)
Mami "Horie" Bradford (Pf/Kybd/Vocal)
Calvin Youngblood (Vocal)
Marco Bosco (Perc)
Tod Carver (Guitar)
Fumio Nishiyama (Guitar)
Pat Brady (Guitar) Junichi
Takagi (Guitar)
Kiichiro Komobuchi (Bass)
Shinichi Satoh (Bass) Teruo
Gotoh (Tenor Sax) Noboru
Inoue (Trombone)
Ryuichi Takase (Trumpet)
Shinpei Inoue (Flute)



PHILIP WOO
(フィリップ・ウー)

キーボード

ワシントン州シアトル生まれ。

フィリップ・ウーは14歳からアメリカシアトルにてプロ活動を始め、

高校の同級生であったあのソプラノ・サクソのケニー G とバンドを組みました。

その後ヒップ・ホップネタでも引っ張りだこのロイ・エアーズに見出され 19 歳でメンバー参加。

そして現在も毎年アメリカで行われる黒人音楽最大のイベントでも毎年トリをとる

大御所バンド MAZE のメンバーとしても活躍。

ホイットニーヒューストン、スティービーワンダー、シンディーローパー、スタイリスティックス、

パティ・ラベル、ロバータフラック、グローバーワシントン、、グラディスナイトアシュフォード&シン普森、

メーズ、ジェフリーオズボーンなどのレコーディングアーティスト、ツアーメンバーとして活躍する。

日本においても久保田利伸、ゴスペラーズ、平井堅、Sowelu、ケミストリー、スクープ・オン・サムバディ、

フェイレイなどとレコーディング、楽曲提供、ツアーメンバー、プロデュースを行なう。



JAY STIXX
(ジェイ・スティック)

ドラマー、ソングライター、プロデューサー。

AI と全国ツアーなどでも活躍している黒人ドラマーのジェイスティックス。

スティービーワンダー、K-Ci & Jojo、AI、久保田利信、クレバ、SMAP、Double、Tina、Toku、Bird、Silk、日野賢二 "JINO" などと共演。久保田利信、クレバとコンサートツアー参加。

パワーとテクニックが両立している数少ないドラマー。

アメリカ、ミシガン州デトロイト出身。ベーシストの父の影響で 3 歳からドラムを始める。

1995 年のグラミー賞新人賞を獲得した「トニーリッチプロジェクト」と共に、全米、ヨーロッパツアーに参加。

1996 年に初来日。2000 年沖縄サミットでは、有名なジャズサクソプレーヤー Micheal Paulo とビルクリントン大統領とスペシャルライブ演奏。

マキシープリスト、Gigi Hamilton(Warner Sweden)、Quere(Victor)に楽曲提供している。



東京・横浜・千葉・埼玉・静岡・茨城・長野・福島・新潟・大阪・京都・神戸・名古屋・福岡

名門ジャズクラブで活躍中のジャズマンたちによるジャズ生演奏。

スタンダードジャズ、ボサノバ、ディズニー、洋楽ポップスをアレンジ。

「ビルエバンス」、「ピーターオスカーソン」など憧れのジャズのリクエスト曲もお気軽にお問合せ下さい。

レストラン、ホテルなどご利用のお客様やイベント、ウエディング、パーティー、ホームパーティー、式典などにステキなジャズの生演奏を。もっと気軽に生演奏を楽しむことができます。

披露宴パーティーは2時間30分対応。

列席者の迎賓・新郎新婦の入場・乾杯・歓談中・ケーキ入刀・お開き・送賓まで対応可能。

迎賓、入場シーン、乾杯、歓談中など 生演奏とCD音源を組み合わせることで

印象に残る素晴らしいウエディングになります。お勧め致します。生演奏の進行やレパートリーはお問合せ下さい。

生演奏は約 20 分演奏に1回、休憩を入れさせて頂きます。CD等のご用意をお願い致します。

ジャズ演奏 披露宴パーティーの進行例

- ・スタンダードジャズ、映画音楽、洋楽ポップスなどリクエスト曲も可能です。
- ・披露宴進行は迎賓～送賓まで2時間30分対応。2時間30分対応
- ・披露宴進行は約20分演奏に1回休憩を入れます。CDなどBGMをご用意下さい。
- ・新婦ドレス→ドレスお色直し1回（又はヘアチェンジのみ）一般的な進行例。

時間	披露宴パーティー進行	備考	音楽
11:55	迎賓	迎賓（2～3曲）	♪生演奏
12:00	新郎新婦入場	1曲（生演奏 or CD） 例：イズント・シー・ラブリー、St. トーマス	♪生演奏
	司会より開宴の挨拶		
	プロフィール紹介	軽めにBGM演奏（ピアノ or CD） 例：虹の彼方に（Over the rainbow）	
	例：スピーチ2名		
	ケーキ入刀	1曲（生演奏 or CD） ジャズスタンダード・洋楽ポップス	♪生演奏
	乾杯の発声	発声と共に1曲（生演奏 or CD） ノリのよいジャズスタンダード演奏など。 例：A列車でいこう、	♪生演奏
12:35	歓談/食事開始	リクエスト曲かお任せ曲（約15分間） 例：ムーンリバー、L・O・V・E など	♪生演奏
13:00	お二人お色直し	1曲（生演奏 or CD）	♪生演奏
13:00	お二人中座中	リクエスト曲かお任せ曲（約15分間）	♪生演奏
13:25	再入場シーン	2～3曲（生演奏 or CD） 例：ラヴィング・ユーなど	♪生演奏
13:40	メインテーブル着席		
13:45	歓談	お二人もご覧頂きながら	♪生演奏
	スピーチ・余興		
	デザートbuffet	例：ナイト・アンド・デイなど	♪生演奏
14:10	ご両親へ花束贈呈	1曲（生演奏 or CD） 例：星に願いを など。	♪生演奏
	両家代表謝辞		
14:30	お開き	2～3曲（生演奏 or CD）	♪生演奏

ジャズ演奏 曲目リスト

曲目リストは以下を参照してください。

リストにない曲も編曲できる曲は演奏可能ですので、お気軽にご相談下さい。

ジャズスタンダード・洋楽ポップス

フライミートゥザムーン、ミスティ、デイ・バイ・デー、A列車でいこう、酒とバラの日々、
イパネマの娘、St. トーマス、ムーンリバー、ペーパームーン、L・O・V・E、ナイト・アンド・デイ
ジョージア・オン・マイ・マインド、サテンドール、テイクファイブ、三文オペラ(モリタード)、
モーニング、センチメンタルジャーニー、ムーンライトセレナーデ、リカルドボサ(~ザ・ギフト!)、
君の瞳に恋してる(Can't Take My Eyes Off You)、ザッツエンターテインメント、
イズント・シー・ラブリー、ウォーターメロン・マン、マーシー・マーシー・マーシー、
ユーアーマイサンシャイン など

ラブソング

ラヴィング・ユー、ミスティ、ユーアーエヴリシング、誓い、遥かなる影(Close To You)、
オンリーユー、ウェン・アイ・フォーリング・ラブ、マイシエリーアモール

ディズニーソング

星に願いを、アラジン、ライオンキング、虹の彼方に(Over the rainbow)
いつか王子さまが、美女と野獣

ゴスペル

アメージンググレイス、ジョイフルジョイフル、オーハッピーデー

ジャズトリオの披露宴パーティー進行例

新婦ドレス→ドレスお色直し1回(又はヘアチェンジのみ)のパターンの一般的な進行例。

TIME	披露宴進行表	備考	音楽
12:00	新郎新婦入場	A,ラブソング ラヴィング・ユー、ユーアーエヴリシング、誓い、 はるかなる影、ミスティ、オンリーユー、 ウェン・アイ・フォーリング・ラブ、 マイシェリーアモール…etc B,ディズニーソング 星に願いを、アラジン、ライオンキング、 虹の彼方に、美女と野獣、いつか王子さまが…etc C,ゴスペル アメージンググレイス、ジョイフルジョイフル、 オーハッピーデイ…etc D,ジャズスタンダード～ポピュラーソング ザッツエンターテイメント、デイ・バイ・デー、 A列車でいこう、酒とバラの日々、テイクファイブ 三文オペラ（モリタード）、イパネマの娘、 ユーアーマイサンシャイン、 イズント・シー・ラブリー、 フライミートゥザムーン…etc	♪ 生演奏
	司会より開宴の挨拶	～ お二人のプロフィール紹介	
	例:スピーチ2名		
	ケーキ入刀	D,ジャズスタンダード～ポピュラーソング	♪ 生演奏
	乾杯の発声	D,ジャズスタンダード～ポピュラーソング 発声と共にノリのよいジャズスタンダード演奏が多い。 ※ケーキ入刀、乾杯はCD（BGM）の場合もある	♪ 生演奏
12:35	歓談/食事開始	例:食事中に演奏	♪ 生演奏
13:00	お二人お色直し中座	お色直し中座シーン	♪ 生演奏
13:00	お二人中座中	リクエスト曲かお任せ曲などで対応。（約15分間）	♪ 生演奏
13:25	新郎新婦 再入場	すべての各テーブルを回る場合は2～3曲は必要	♪ 生演奏
13:40	二人メインテーブル着席		
14:10	ご両親へ花束贈呈	A, B, Cのような曲で演奏。	♪ 生演奏
	両家代表謝辞		
14:30	新新婦退場	感動的にしたいのであればA, B, Cの感じで。 ノリよくしたいのであればDの感じです。	♪ 生演奏
	送賓	サマーサンバ、ウェイブ、コルコバード、 メデーション…etc 軽快で爽やかな感じのボサノバ調の曲をよく演奏	♪ 生演奏

- 生演奏は通常30分演奏の後、休憩を頂きます。（CDなどBGMのご用意をお願いします）
- その他にも対応できる曲はございますのでジャズのリクエストがあれば申し付け下さい。
ジャズのスタンダード曲はリクエストは無料です。
- 生演奏とのBGM（CD音源歌入りなど）を使い分けるとメリハリがついて宜しいでしょう。
- 音楽で生演奏を使用しない場合は♪BGM（会場/ご利用者側）で対応して下さい。

本番当日の流れ

演奏派遣 宴席日のスケジュール

- ①演奏者は演奏開始の1~1.5時間前に入館（アメリカ黒人シンガー派遣は通訳兼マネージャー同行）
- ②弊社スタッフ/演奏者より会場側（会場スタッフ/音響スタッフ）と打合せをさせていただきます。
- ③演奏者・シンガーは演奏時間まで控室又は、喫茶室にて待機。お飲物のご用意をお願い申し上げます。
- ④演奏者スタンバイ → 演奏スタート

確認事項

演奏派遣について。

- 代金はすべて前金でお支払い頂きます（振込手数料は別途ご負担）
- 出演者のスケジュール、曲リストに関しましては、宴席日程決定後の調整とさせていただきます。
- アメリカ黒人シンガーは本番出演してからの拘束時間は1時間以内。出演シーンは2回までとさせていただきます。
- 原則として音響設備は会場側の既存設備使用。
PA音響機器は別途お手配のご確認/ご用意をお願いします。
- マイク/マイクスタンド/MDプレーヤー/キーボード/エコー(エフェクター)等の確認をさせて頂く場合がございますが、基本的にリハーサルは行いませんので
宴席開始前に会場音響担当よりマイクチェック、MD機器などの確認を御願います。
- 楽器運搬の場合、搬入口の確認/駐車場の手配をお願いします。
- 演奏者・シンガーは演奏時間まで控室又は、喫茶室にて待機。お飲物のご用意をお願い申し上げます。
- 演奏の1時間前に会場入り。（通訳兼マネージャーよりマイク・MDプレーヤーの確認をさせていただきます。）
- 生演奏/ジャズ演奏は通常30分演奏の後、休憩を頂きます。（CDなどBGMのご用意をお願いします）
- 披露宴進行表、式次第、詳細等ございましたらFAXにてお送りください。
- アドバイスとしては生演奏とCD音源（歌入りなど）のBGMを使い分けると進行がととも引き立ちます。
- アメリカ黒人シンガーは東京・神奈川・千葉・大阪・名古屋・福岡・札幌へ派遣可能。
- ジャズバンドは大阪などへ出張可能。別途、見積り致します。

関東以外へ演奏者の派遣いたします。出張料金を計算させていただきます。
日本人ゴスペル/アカペラ・ジャズバンド・弦楽四重奏はどうぞお気軽にご相談ください。

- ① 遠方派遣（北海道・札幌など）
演奏者が夜遅くなり帰宅出来ない場所は宿泊（ビジネスホテル）の手配をさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。
- ② 遠方派遣の場合は航空券・新幹線を予約するため1ヶ月前までにお申込下さい。

アメリカ黒人シンガー 新潟・長野・山梨・福島などへの主張料金
（東京・横浜・大阪・京都・神戸・福岡は通常料金。）

人数	内容	アメリカ黒人シンガー 4曲 約 20分間（通訳兼マネージャー同行）
1名	アメリカ黒人シンガー1名	・東京 から 新潟・長野・山梨・福島など ¥157,500（2名 交通費込 = 3万円代まで） ・東京から 北海道(札幌) ¥298,000（2名 交通費込 羽田より航空機利用・往復）
2名	アメリカ黒人シンガー2名	・東京から 新潟・長野・山梨・福島など ¥298,000（3名 交通費込 = 6万円代まで） ・東京から 北海道(札幌) ¥420,000（3名 交通費込 羽田より航空機利用・往復）

オプション



PA 音響+生演奏バンドセット（演奏時のオペレート付き）演奏時の操作/搬入/撤収

音響担当スタッフが機材を搬入させていただきます。当日の機材設置及びセッティングはお任せ下さい。

必要なマイク本数、マイクスタンド、ケーブル類、延長コード、電源リール等も持参します。

※電気キーボードは別途

- 電気キーボード、ベースアンプ、サックスのマイクからのサウンドをパワードミキサーに入力。ミックスされたサウンドが2つのスピーカーから出力されます。
- 2台のスピーカーとスピーカースタンドはお客様向けに移動可能。
- メインテーブルの両脇にスピーカーを立てる事は可能です。
- ミキサーからのスピーカーまでの延長は可能です。延長ケーブルは複数持参します。

詳細はお問合せください。